

独立行政法人国立病院機構 災害医療センター

項番	項 目	摘 要
1	モデル実験対象地域	<ul style="list-style-type: none"> ・独立行政法人 国立病院機構災害医療センター (東京都立川市緑町3256)
2	モデル実験の実施主体	<ul style="list-style-type: none"> ・独立行政法人 国立病院機構災害医療センター ・特定非営利活動法人 リアルタイム地震情報利用協議会 ・気象庁
3	緊急地震速報の伝達対象者	<ul style="list-style-type: none"> ・独立行政法人 国立病院機構災害医療センター内の病院関係者、外来及び入院患者(面会者等を含む)
4	緊急地震速報の放送の基準	<ul style="list-style-type: none"> ・独立行政法人 国立病院機構災害医療センターにおいて推定される最大震度が4以上となった場合に放送を行う
5	緊急地震速報の伝達方法と放送内容	<ul style="list-style-type: none"> ・独立行政法人 国立病院機構災害医療センターの構内放送設備を用いて、各施設(病棟を含む)へ伝達を行う。 ・放送する内容は、推定される震度の大小に係らないが、大きな揺れが到達するまでの猶予時間に応じて、変化させる。1例として、「(サイレン)+地震がきます+あと 秒(10秒単位)で揺れます。揺れに備えて下さい。」の旨の放送を行う。
6	モデル実験実施の事前周知方法	<ul style="list-style-type: none"> ・病院内関係者への説明会の実施 ・独立行政法人 国立病院機構災害医療センター内へのポスターの掲示 ・ビラの配布(外来者向け)
7	モデル実験開始日	<ul style="list-style-type: none"> ・平成18年11月27日